



# 華となれ!

宮城県仙台二華中学校  
学校だより 第32号  
【発行日】平成29年10月25日  
【連絡先】022-296-8104  
【文責】1学年 佐藤紀子

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

## 「 中学1年 秋のSR巡検 」

去る10月13日(金)、中学1年の総合的な学習の時間のSR(サイエンティフィック リサーチ)として、年3回予定している野外巡検を行いました。前日までの雨で天候が心配されましたが、活動するうちに霧からくもり、徐々に晴れ間も見えるなど少しずつ回復し、計画通り泉ヶ岳での定点観測と、焼河原での化石採集を行うことができました。泉ヶ岳に向かう途中、標高が高くなるにつれ紅葉し始めた樹木も見ることができるなど、五感で自然を体験し、四季の移ろいも感じることができる有意義な時間を過ごせました。

午前中は、4月の巡検以来半年ぶりに、それぞれの班が決めた「我々の木」の定点観測を行いました。樹木の生長や変化を、高さや幹の太さをもとに考察できるようデータ等を収集しました。目印が見つからず、春に決めた木を探すのに手間取った班。素早く目的の木を発見し、工夫・協力してデータをとる班。データを収集しながらドングリ拾いに夢中になるなど、自然の変化や動植物を発見する楽しさ、面白さを十分に感じることができました。



( 班員と協力しながら観測し、データを集める )

午後からは、場所を泉ヶ岳麓の焼河原へ移動して、六角水晶と化石の採集を行いました。採集場所の露頭へ着くと、高校地学科の花松先生のご指導のもと、まずは水晶採集です。後ろは川なので、転ばないように気をつけながら、キラキラと光る宝石のような大きな水晶を見つけようと一生懸命探しました。5mmくらいの大きな水晶を見つけることができた人は、スタートから満足げ。一方でなかなか見つからない人は露頭にかじりつくように必死でハンマーを使っていました。



水晶を採った後は化石採集です。竜ノ口層にある貝の化石が、この焼河原では足もと一面絨毯のように露出しています。幻のタカハシホタテを見つけようとハンマーを振り下ろす人々……。採った化石を花松先生にチェックしてもらった姿も見られました。これからの授業では、採った化石をクリーニングする作業を行います。その後、全員の化石標本を校舎1Fエントランスに展示する予定です。お楽しみに。

